

# 第5章 事業の推進体制

## 1. 市民・事業者・市の役割

---

### <市民の役割>

市民は、住まい・暮らしづくりに対する意識を高め、市の進める施策に協力・参画するとともに、自身が所有する住宅の適切な維持管理や、地域の安全・安心な住環境の創出に積極的に取り組むことが求められます。

また、脱炭素社会の実現に向けた取組に共感し、エネルギー消費性能が優れた良質な住宅を所有するなど、環境向上への貢献が望まれます。

より魅力的なまちなみを形成していくため、金澤町家やこまちなみなどの歴史的まちなみの保全や、木の文化都市の創出に向けた活動に参画するなど、恵まれた自然や地形、歴史、伝統・文化を次世代に継承していくことが望まれます。

さらに、町会やまちづくり組織、NPOなどの住民組織は、市民・事業者・市との連携・協働のもと、積極的に地域活動や各種まちづくり活動に取り組み、良好な住生活の維持・創出に寄与することが望まれます。

### <事業者の役割>

事業者は、良質で脱炭素社会の実現に寄与する住宅ストックの形成や、豊かな住環境を構築するための役割を担っており、市の進める施策に積極的に協力するとともに、各々の事業活動を通じて良好な住生活の維持・創出に努めることが望まれます。

具体的には、住宅の供給や流通の主体として、住宅の安全性や品質の確保・向上、公正な取引、適切な情報や良質なサービスの提供など責任をもって取り組んでいくことが求められます。

### <市の役割>

住生活に関連する分野は広範囲にわたることから、市内部の関係部局間の連携を強化し、まちづくりや防災・環境・福祉・子育て・地域コミュニティなどの各種のまちづくり施策と連携して、次世代への継承を見据えた良好な住宅・住環境の整備を推進します。

また、市営住宅や民間賃貸住宅を活用した住宅セーフティネット制度を関係部局が一体となって推進し、誰もが安心して暮らせる住まいの実現を目指します。

さらに、市民及び事業者に対して、各種助成制度等に関する広報や相談窓口などの設置による周知を図り、適切な支援や指導・誘導を行うほか、市民や事業者が主体的に取り

組む活動を支援し、良質な住宅ストックと良好な住環境の形成に向けた施策を総合的・計画的に推進します。

## 2. 施策の推進

---

### (1) 市民との連携

本市が実施する施策は、市民の生活と密接に関わっており、市民の理解や協力を得ながら進めていく必要があります。市民との協働により施策を推進するにあたり、適切な情報提供を行ったうえで市民及び市民団体等との連携に努め、多様化するニーズを施策に反映し、実行に移します。

### (2) 民間団体との連携

宅地建物取引業や建設・建築業の団体、建築士や弁護士等の専門家等と密に連携し、住生活に関する情報提供や相談等の支援、住宅の管理の適正化に向けた取組等を総合的に行えるようにします。また今後は、住宅確保要配慮者の居住の安定確保に向け、より一層の協力体制を推進します。

### (3) 近隣市町との連携

住生活に関する問題の中には、本市が単独で対応可能な分野と、近隣市町と一体となって広域的に取り組むべき分野があります。近隣市町とは、石川中央都市圏を構成（白山市・かほく市・野々市市・津幡町・内灘町）しており、「石川中央都市圏ビジョン」を推進することで、広域的に「住みたい」「住み続けたい」と思える都市圏の形成に向け、より一層の連携と施策展開に努めます。

### (4) 国や石川県との連携

「住生活基本計画（全国計画）」や「石川県住生活基本計画 2021」の方針を踏まえ、国や県の住宅政策を適切に本市にも反映し、国・県とも連携を図りながら施策に取り組みます。特に県とは、住生活に関する情報の提供及び相談業務など、市民に直結する分野において一層の連携を図り、それぞれの役割分担のもと、より有効な施策展開に努めます。

### 3. 成果指標のまとめ

住宅政策の施策効果を定量的かつ定期的に把握・分析・評価するために 13 項目の成果指標を設定し、目標値の達成に向けて各種の施策を推進します。

目標	成果指標 (★印は金沢市独自の指標)		現状値	目標値	
<b>目標 1</b> 誰もが安心して暮らせる住まいの実現	1	★同居・近居率	19.7% [2018(H30)]	22% [2031(R13)]	
	2	住宅のバリアフリー化率	47.9% [2018(H30)]	49.7% [2031(R13)]	
	3	★住宅支援制度の活用による県外からの移住者数（累計）	104 人 [2021(R3)]	404 人 [2031(R13)]	
	4	地区計画指定地区・まちづくり協定・土地利用協定地区数（累計）	124 地区 [2021(R3)]	134 地区 [2031(R13)]	
	5	★市営住宅のうち、バリアフリーに対応した住戸の占める割合	40.1% [2021(R3)]	45.1% [2031(R13)]	
<b>目標 2</b> 次世代に向けた良質な住宅づくりの推進	6	耐震性能を有する住宅ストックの比率	91% [2021(R3)]	95% [2025(R7)]	
	7	新築住宅における長期優良住宅の割合	19.7% [2021(R3)]	25% [2031(R13)]	
	8	住宅のリフォーム実施戸数の比率	4.4% [2018(H30)]	7% [2031(R13)]	
	9	居住目的のない空き家数	11,290 戸 [2018(H30)]	現状の戸数におさえる [2031(R13)]	
	10	★空き家対策周知啓発に関するセミナー開催数（累計）	31 件 [2021(R3)]	91 件 [2031(R13)]	
	11	★環境対策支援制度活用による設備設置戸数（累計）	264 件 [2021(R3)]	2,264 件 [2031(R13)]	
<b>目標 3</b> 歴史と文化を活かした魅力あるまちづくり	12	★金沢産材供給量	6,657 m <sup>3</sup> [2021(R3)]	6,950 m <sup>3</sup> [2031(R13)]	
	13	★人口密度	まちなか区域	66.7 人/ha [2020(R2)]	70.3 人/ha [2040(R22)] <sup>※</sup>
			居住誘導区域	61.6 人/ha [2020(R2)]	62.9 人/ha [2040(R22)] <sup>※</sup>

※H27 時点の現状維持